

北九州工業高等専門学校の年度計画（令和6年度）

I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

1. 1 教育に関する事項

(1) 入学者の確保

- 本校の特徴や強み等の広報活動の充実を目的に学校紹介や入試広報のWebコンテンツを必要に応じて見直しを行う。
- 福岡市内で開催される福岡3高専合同説明会へ参加し、中学生、保護者へ本校及び高専の概要説明、ブースでの個別相談、説明等を行い、3高専が連携して入学者確保に取り組む。
- 国公立高専合同説明会（KOSEN FES）2024へ参加し、中学生及びその保護者等に対して個別相談、説明等を行い、入学者確保に取り組む。
- 中学生と保護者、中学校教員等を対象にした学校説明会、中学校訪問、オープンキャンパスを継続して実施することで入学者確保に取り組む。
- 学外イベントホール等において、工作教室等のイベントと併せて学校説明会を行い、本校の情報発信を行うとともに、国立高等専門学校の特性や魅力についても発信する。
- 引き続き、入試説明会においてアンケートを実施し、アンケートデータを分析する。その結果を全教職員で情報共有し、入学者確保のため改善点について迅速に対処する。
- 小中学校向けの出前授業を継続して実施することで、国立高等専門学校の特性や魅力及び本校についての情報を発信する。
- オープンキャンパスや地域のサイエンス事業等において、女子在学生の協力を得ながら女子中学生の志願者確保を目指す。
- 本校ホームページコンテンツについて外国人留学生確保に向けた情報発信の検討を行う。
- プログラム情報をWebclassへの掲載するとともに、Appsメールで学生に周知し、積極的な参加を促す。
- 3年次に日本語の授業を実施するとともに、留学生のニーズに合わせた適切なサポートを提供する。

(2) 教育課程の編成等

- 社会・産業・地域からのニーズに対応できる半導体・デジタル人材を育成するため、次世代基盤教育のカリキュラム化について検討する。
- スタートアップ推進センターにて、スタートアップ教育及びアントレプレナー教育を推進するため、地域組織と連携し、講演会の実施や、関連プログラムへの参加などを積極的に学生に促す。
- 令和6年度は九州大学との連携教育プログラム第1期生が修了する年度であるため、一層連携・協力し、連携教育プログラムの推進を図る。
- グローバルエンジニア育成事業をもとに、組織的に教員や学生の海外派遣、留学、海外インターンシップ等の推進を図る。
- 高専生の海外活動支援事業を活用し、海外派遣を促進する。
- プログラム情報をWebclassへの掲載するとともに、Appsメールで学生に周知し、積極的な参加を促す。
- 地域が開催するイベントにボランティア等として積極的に参加する。
- 海外留学、研修、国際会議、各種留学向け奨学金制度や補助金制度について、都度学生掲示

板やWebclassに掲載するとともに、国際交流プログラム説明会や渡航報告会等でも、グローバル推進センター委員会から積極的に情報を提供する。

○ICP (International Communication Platform)の活動を支援しながら、留学情報等の波及や英語使用機会の提供等を進める。

(3) 多様かつ優れた教員の確保

○専門科目担当教員公募の公募について、応募資格の一つとして、博士の学位を有する者を掲げることを原則とするとともに、教育力についても審査を行い、優れた教員の採用に努める。

○近隣大学とのクロスアポイントメント制度を実施する。

○教員公募において、民間で活躍した人材を積極的に採用するよう努める。

○変形労働時間制や遅出早出出勤等の制度によりライフステージに応じた柔軟な勤務時間制度の活用を推進する。

○国立高専・両技科大間の教員人事交流及び高専間教員人事交流を積極的に検討する。

○機構本部・自治体（教育委員会）等が主催する各種研修会への積極的な参加を図る。

○専門機関や他の教育機関との連携を含めて、学内のファカルティ・ディベロップメントの内容の充実を検討し、教員の能力向上及びキャリアパス形成を目的としたFD講演会やワークショップ等を開催する。

○顕著な功績が認められる教員や教員グループについては学内で表彰するとともに、機構本部が実施する教員顕彰制度等に推薦する。

(4) 教育の質の向上及び改善

○高専間提供科目により、高専間相互の履修・単位の互換認定を推進する。

○3つのポリシーが適切に設定されているか必要に応じて教務委員会で検証し、教学マネジメントの実践を推進し、教育の改善を検討する。

○令和6年度は受審年度ではないものの、機関別認証評価、KISの次回受審に向けて、改善点等への対応を検討する。

○教務委員会において、PBLの実施を推進する。

○北九州市教育委員会との連携を検討しつつ、北九州高専におけるSTEAM教育の発展に努める。

○地域産業界等と連携した、短期就業体験型や長期課題解決型インターンシップを継続的に推進するとともに、効果的な共同教育を実施する。

○技科大との間で人事交流等の連携を推進する。

(5) 学生支援・生活支援等

○多感な時期を過ごす学生や発達特性等に起因した不適応によって心身面・学習面に少なからず支障をきたした学生に対し、カウンセラー及びソーシャルワーカー等の専門職員と連携を取りながら、学生支援体制の充実を図る。また、学生指導担当教職員に対し、講習会等の参加を促し、学内全体の学生支援に関する素地の向上を図る。

○学生に対して教育費負担軽減に係る奨学金制度などの学生の修学支援に係る情報の周知を行い、経済的な支援が受けられるようにする。

○学生の入学時から卒業時までの計画的なキャリア教育を推進するため、進路支援室やキャリア教育推進室が中心となり卒業生や企業と連携を図りながら、低学年からのキャリア教育を推進するとともに、高専キャリアサポートシステムを活用することで学生に対して就職や進学に関する情報提供を行い、キャリア支援体制の充実を図る。

1. 2 社会連携に関する事項

- 北九州高専技術コンソーシアムやものづくりセンターの紹介冊子等の情報を発信することで、地域企業との連携を深める。
- HPに掲載の研究者総覧（ダイジェスト版）を更新し、最新の研究者情報を広く企業や社会に発信する。
- 北九州高専技術コンソーシアムのイベントなどで、研究者総覧の配布や技術紹介を行い、教員の研究分野や研究の成果などの情報を発信する。
- KRA や、各種民間財団等からの公募案内などを教員に周知し、積極的に応募するよう促し、共同研究・受託研究の受入れを推進する。
- 地域共同テクノセンターや北九州高専技術コンソーシアムなどを活用しながら、産業界や地方公共団体との新たな共同研究・受託研究の受入れを促進するとともに、効果的技術マッチングを推進する。
- マッチングイベント等に参加することにより、研究成果等を広く情報発信し、社会に還元することに努める。
- 本校 Web サイトへの掲載や報道機関等への情報提供によって、学生活動等の様々な情報を発信する。
- 報道内容等については随時機構本部へ報告を行う。
- 公開講座等の情報をホームページに掲載することにより、社会に発信し、報道機関への情報提供等を行う。
- 北九州市教育委員会と連携し、小中学校向けの教育支援を実施し、理工系人材の早期発見及び人材育成支援を推進する。
- 企業や行政等と連携して、企業の経営層や実務者層を対象としたビジネススクールを実施することを検討する。

1. 3 国際交流等に関する事項

- グローバルエンジニア育成事業をもとに、組織的に教員や学生の海外派遣、留学、海外インターンシップ等の推進を図る。
- 高専生の海外活動支援事業を活用し、海外派遣を促進する。
- グローバルエンジニア育成事業をもとに、組織的に教員や学生の海外派遣、留学、海外インターンシップ等の推進を図る。
- 高専生の海外活動支援事業を活用し、海外派遣を促進する。
- プログラム情報を Webclass への掲載するとともに、Apps メールで学生に周知し、積極的な参加を促す。
- 海外留学、研修、国際会議、各種留学向け奨学金制度や補助金制度について、都度学生掲示板や Webclass に掲載するとともに、国際交流プログラム説明会や渡航報告会等でも、グローバル推進センター委員会から積極的に情報を提供する。
- ICP (International Communication Platform) の活動を支援しながら、留学情報等の波及や英語使用機会の提供等を進める。
- プログラム情報を Webclass への掲載するとともに、Apps メールで学生に周知し、積極的な参加を促す。
- 3年次に日本語の授業を実施するとともに、留学生のニーズに合わせた適切なサポートを提供する。

- 危機管理ガイドラインに準じた内容での、海外渡航説明会の実施や学生へのガイドブック等の配布を行う。
- 教員や学生の国際交流の際には、第5ブロックで推奨している海外旅行保険と危機管理アシスタンスが合体した OSSMA Plus へ加入させる等安全面の配慮を行う。
- 短期留学生の受け入れについては事前の健康状況報告を義務付け、伝染病の拡散を防ぐ。
- 外国人留学生の学業成績や資格外活動の状況等の的確な把握や適切な指導に取り組む。

II 業務運営の効率化に関する事項

2. 1 一般管理費の効率化

- 毎年後期に実施している予算ヒアリングを基に、必要最低限の当初予算配分を行い、その後追加配分があれば優先順位の高いものから対応する。
- 経費節減についてあらゆる分野における取組を模索、実施する。

2. 2 給与水準の適正化

- 諸規則の内容を踏まえた上で、適正な給与支給に努める。

2. 3 契約の適正化

- 契約の原則となっている一般競争入札を積極的に取り入れるとともに、実質的な競争が叶うよう、仕様書作成段階においては汎用性の高い内容で策定するよう、複数者が応札できる内容を前提とした方針での対応を働きかける。

2. 4 情報通信技術を活用した業務の効率化

- 決裁文書の電子化を検討し、電子決済システムを導入し、業務の効率化を図る。
- 教職員・学生からの各種申請文書の電子化を検討し、Microsoft365 を用いたオンライン化や申請システムの導入を行う。

III 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画

3. 1 戦略的な予算執行・適切な予算管理

- 校長のリーダーシップの下、将来構想を担う若手教員によるワーキンググループや予算専門委員会による計画的な予算要求、予算執行の検討を行う。

3. 2 外部資金、寄附金その他自己収入の増加

- 本校の研究目的にある「地域産業界との共同研究による地域への貢献」のために、共同研究・受託研究等を促進し、併せて研究プロジェクト経費等への応募を促すことで、外部資金の獲得の増加を図る。
- 北九州高専技術コンソーシアムのイベントにより、会員企業と本校教員が知り合う機会を設け、外部資金、寄附金等の獲得につながるよう努める。

IV その他主務省令で定める業務運営に関する事項

4. 1 施設及び設備に関する計画

- 令和5年度補正予算にて措置された校舎改修（8号館）を着実に遂行する。
- 建物2棟（福利施設・学生寄宿舍）について次期概算要求建物と位置づけ、整備計画を検討・作成する。
- トイレ整備計画に基づき、女子トイレのリニューアル及び多目的トイレを新設する。
- 省エネ対策として、照明のLED化を順次行う。
- 安全衛生管理のための講習会や職場巡視の実施により、学内の安全対策を継続して行う。
- 1年生入学時に印刷した「実験実習安全必携」を配布する。
- ものづくりセンター（第一工場）で工作機械類を利用する学生を対象とした、安全教育講習を計画している。安全教育講習会の事前学習のため、工作機械を使用するにあたり、注意事項

や使用方法の資料を Web Class で学生・教員を対象に公開する。

○安全教育講習は、学生への安全意識の定着のために、毎年度実施し受講させる。

○学生寄宿舎を含めたキャンパス整備計画（ランドデザイン）を検討する。

4. 2 人事に関する計画

(1) 方針

○各種研修を計画的に実施して資質の向上を図るため、課外活動、寮務等の外部人材やアウトソーシング等の活用を検討する。

○学生寮の外部人材やアウトソーシング等の活用について、学生寮業務の負担軽減として、学生寮の宿日直業務について、本校での教員経験のある特命教授（非常勤教員）、学生寮指導員（非常勤職員）、寮監（警備員）を雇用し、宿直教員や学生寮関係教職員の業務補佐をする等、寮の業務の見直しとして、活用促進する。

○人事交流や女性教員採用のための人員枠の特例措置等を活用し、教育の高度化に対応する柔軟な人員配置を検討する。

○将来を見据えた人員配置を検討し、若手教員の採用を積極的に進める。

○専門科目担当教員公募の公募について、応募資格の一つとして、博士の学位を有する者を掲げることを原則とするとともに、教育力についても審査を行い、優れた教員の採用に努める。【再掲】

○近隣大学とのクロスアポイントメント制度を実施する。【再掲】

○変形労働時間制や遅出早出出勤等の制度によりライフステージに応じた柔軟な勤務時間制度の活用を推進する。【再掲】

○男女共同参画やダイバーシティに関する意識啓発を図るため、シンポジウムや、研修会等の情報を適切に周知する。

4. 3 情報セキュリティについて

○情報戦略推進本部 情報基盤整備部門が主導で行われる統一ネットワーク機器並びに SINET 回線の共同調達に参画し、本校の情報システムの更新および最適化に取り組む。

○機構本部が実施する情報セキュリティ教育およびインシデント対応訓練に参加する。

○情報担当者を対象とした情報セキュリティに関する研修、および管理職を対象とした情報セキュリティトップセミナーに参加する。

○「すぐやる3箇条」を継続して周知する。

○情報セキュリティインシデントの予防および被害拡大を防ぐための研修を実施する。

○メール誤送信防止機能を導入しているので、引き続き周知をしていく。

4. 4 内部統制の充実・強化

○機構の中期計画及び年度計画を踏まえ、本校の具体的な成果指標を設定した独自の年度計画を策定する。